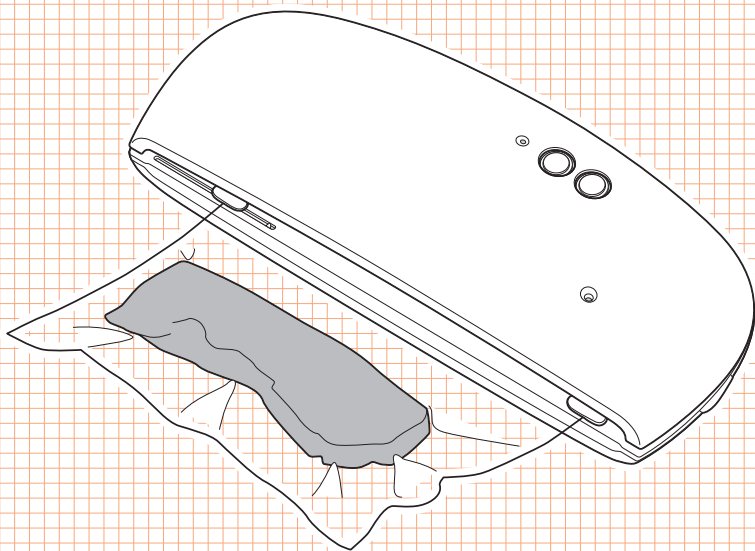




家庭用

真空保存フードシーラー^{*} VPF-385T

取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付

※完全な真空状態のことではありません。JIS規格における「大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」です。

はじめに

この製品は、食品やその他の生活用品を袋に入れ、空気を抜いて真空※パック（脱気密封）したり、保存物によってはシール（溶着）のみすることにより保存をサポートするものです。

※完全な真空状態のことではありません。JIS規格における「大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」です。

- 食品を保存するときは、真空パックして冷蔵庫や冷凍庫に入れてください。
- 真空パックは、いつまでも状態を保つ訳ではありません。注意してください。
- この製品には殺菌作用はありませんので、十分注意してください。

目次

ページ

安全上の注意	3
各部の名称	5
使い方（準備）	6
使い方（自動）	8
上手な使い方	11
使い方（手動）	12
お手入れの仕方	14
消耗品について	15
故障かな？と思ったら	16
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「指示」内容です。



警告



禁止

- 絶対に分解・修理・改造をしない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- 本体に水や汁をかけたり、雨中で使用しない
ショート・感電のおそれがあります。
- お子様だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やベットの近くで使用しない
感電・けがのおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電やけがをする原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 火気や暖房器具のそば、爆発物や可燃性のガスの近くで使用しない
火災・事故・けがのおそれがあります。
- ベットや生き物に使用しない
死亡・けがのおそれがあります。
- AC100V以外では使用しない
コンセント部が異常発熱し、火災・感電の原因になります。



- 発熱・発煙などの異常が発生した場合は、すみやかに使用を停止する



- ・水気の多いもの …… 脱気時に空気と一緒に水を吸い込み、故障の原因になります。
あらかじめ十分水気を取るか冷凍してから袋に入れてください。
- ・高温のもの …… 故障の原因になります。
- ・鋭利な形のもの …… けがをするおそれがあります。
- ・割れやすいもの …… けがをするおそれがあります。

スポンジパッドが損傷すると正しく動作しなくなります。

やけどの原因になります。

燃焼します。また不快なガスを発生します。

発火のおそれがあります。

変形、劣化の原因になります。

故障や破損の原因になります。

故障・破損するおそれがあります。

本製品は一般家庭用です。業務用ではありません。

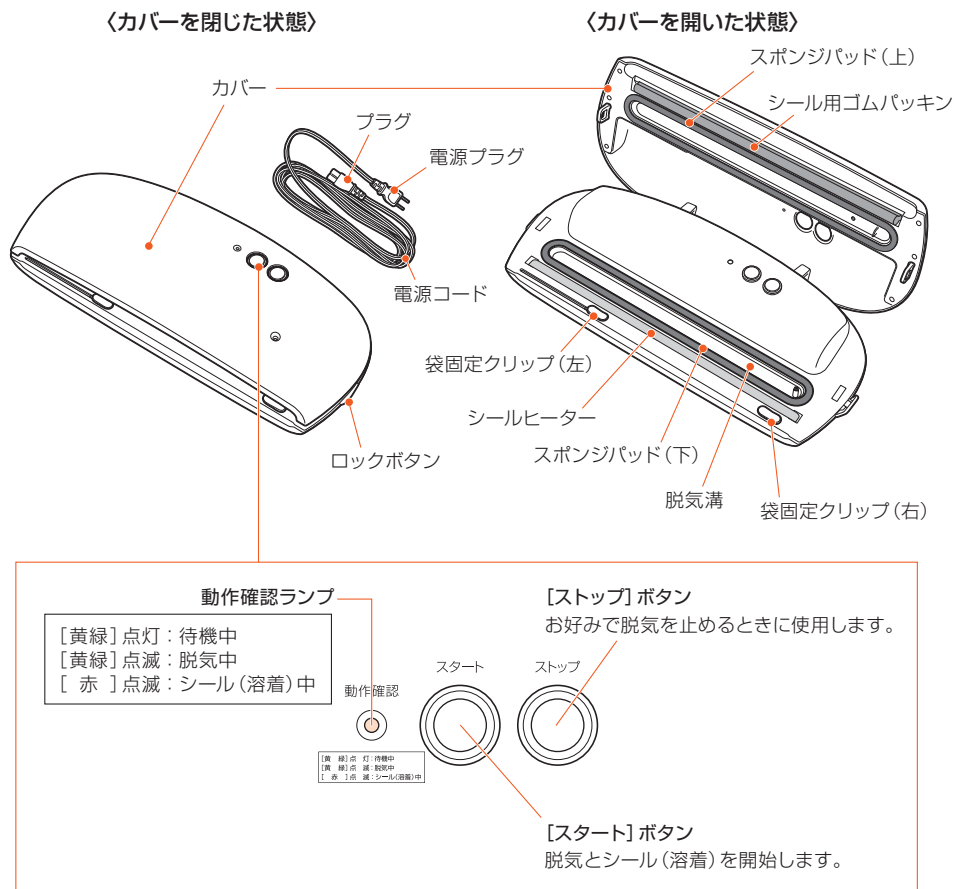
必ず実施

- 感電・ショート・発火の原因になります。

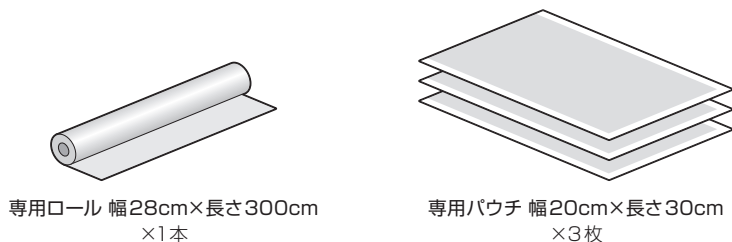
電源コードが断線し、感電・ショート・発火の原因になります。

各部の名称

■本体



■付属品



使い方 (準備)



注意

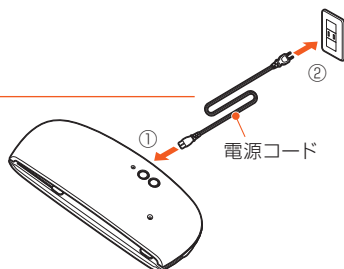
- 一般のポリエチレン袋などは使用できません。専用ロールまたは専用パウチを使用してください。

専用ロールを袋にする

1

電源コードのプラグを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込む

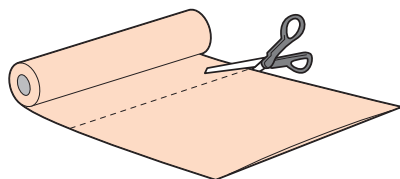
通電すると、動作確認ランプが黄緑に点灯します。



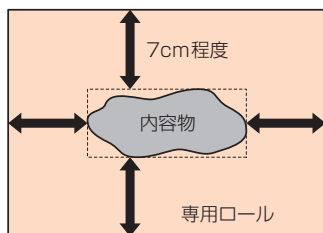
2

専用ロールを切る

- 切る大きさは、パックするものより7cmくらいの余裕をもって切ってください。



大きさの目安：余白が7cm程度



- まっすぐ切ってください。

3

シールヒーターに乗せる

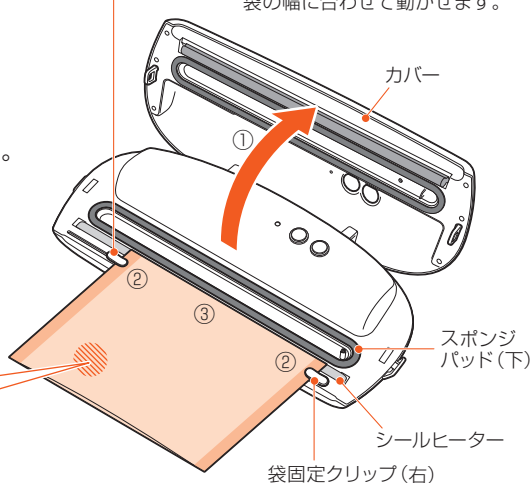
- ① 本体カバーを開け、
- ② 専用ロールの左右の端を袋固定クリップにはさみ、
- ③ 専用ロールの切り口部分をシールヒーターの上に乗せます。

※専用ロールは、切り口部分がスポンジパッドを越えないように置いてください。
越えるとシールできません。

つるつる面を上にする

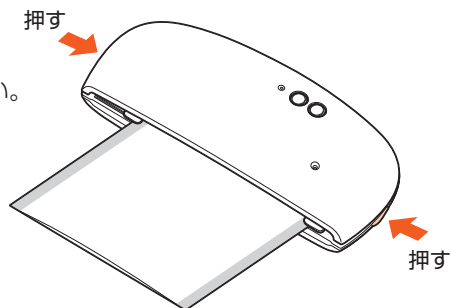
※下にすると完全にシールできない場合があります。

袋固定クリップ (左) ※袋固定クリップ (左) の位置は袋の幅に合わせて動かせます。



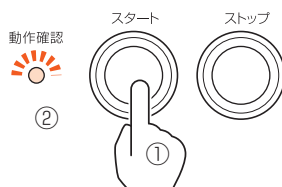
4 カバーを閉め、ロックする

左右のロックボタンを押してロックし、カバーが開かないことを確認してください。



5 シールする

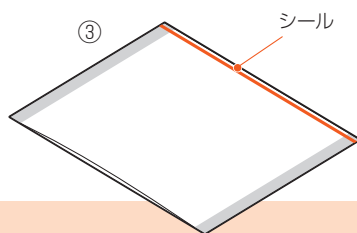
①[スタート] ボタンを押して、シールします。



②ブーという音が出て、シール（溶着）が始まり動作確認ランプが[黄緑]→[赤]に点滅します。約11秒後に[黄緑]に点灯したら完了です。

※シールの途中でロックが解除されますが異常ではありません。シールが完了するまでカバーを開けないでください。正しくシールされないことがあります。

③カバーを開けて袋になったロールを取り出してください。



ご注意

- 正しくシールされたか確認してください。
- シール直後はシールヒーターに触れないでください。

■正しいシール状態の目安

約2mmの幅で、すき間なくシールされている状態

使い方(自動)

脱気からシールまでボタンひとつで完了する操作です。

保存するものによつての自動と手動の使い分けについては
[上手な使い方]をご覧ください。

→11ページ

やわらかいものを真空パックするときは
[使い方(手動)]をご覧ください。

→12ページ

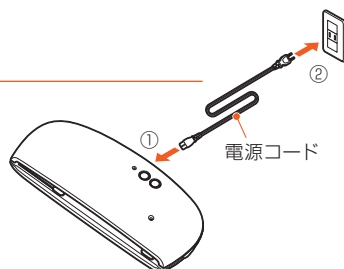
⚠ 注意

- シール直後はシールヒーターは熱くなっていますので絶対に触れないでください。火傷のおそれがあります。
- 本機を続けて使用する場合は、そのつど30秒以上時間をおいてから使用してください。十分に間隔を取らないで連続使用すると、シールヒーター部の過熱防止のため動作確認ランプが点滅を繰り返し、どのボタンを押しても動作しなくなります。このような場合は一度電源プラグを抜いて10分以上時間をおいてから使用してください。

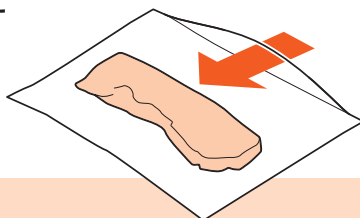
真空パックする

1 電源コードのプラグを本体に取り付け、 電源プラグをコンセントに差し込む

通電すると、動作確認ランプが黄緑に点灯します。



2 ロール(袋にしたもの)またはパウチに パックするものを入れる

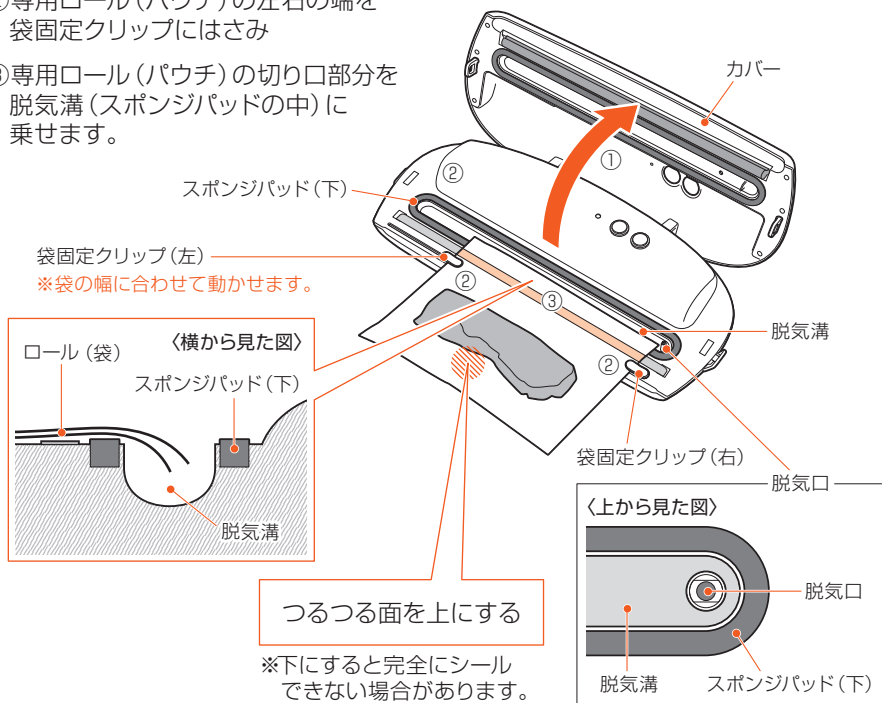


⚠ 注意

- 水分を多く含んだ食品などを真空パックするときは、あらかじめ十分水気を取るかまたは冷凍してから袋に入れてください。シール不良になったり、水分が脱気口に流れ込み故障する原因になります。
- とがったものを真空パックすると袋に穴が開く場合があります。ペーパータオルなどで包んでから袋に入れてください。

3 脱気溝にロールの切り口部分を載せる

- ①カバーを開け、
- ②専用ロール (パウチ) の左右の端を袋固定クリップにはさみ
- ③専用ロール (パウチ) の切り口部分を脱気溝 (スポンジパッドの中) に乗せます。

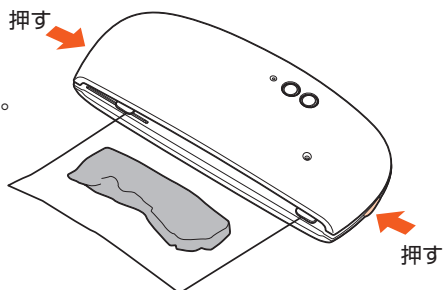


注意

- 細かい異物などが脱気口に入らないようにご注意ください。
- 脱気口にロール (パウチ) が被さらないようにしてください。脱気できなかったり故障の原因になります。

4 カバーを閉め、ロックする

左右のロックボタンを押してロックし、カバーが開かないことを確認してください。



5 脱気してシールする

- ① [スタート] ボタンを押します。



- ② 動作確認ランプが [黄緑] に点滅し、脱気を開始します。



- ③ 脱気が終了すると
動作確認ランプが [黄緑] → [赤] になり、シール (溶着) を開始します。

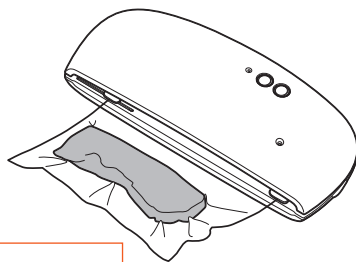
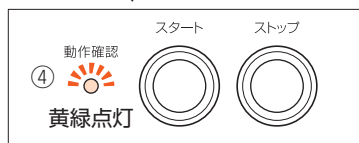
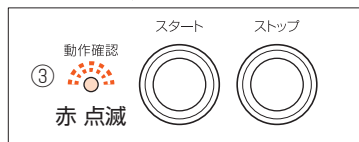
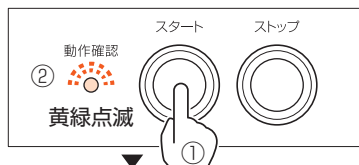


- ④ 動作確認ランプが [黄緑] に点灯したら真空パックは完了です。

※シールの途中でロックが解除されますが異常ではありません。シールが完了するまでカバーを開けないでください。正しくシールされないことがあります。



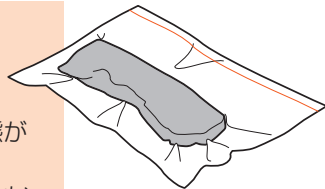
- ⑤ カバーを開けてパックされた袋を取り出してください。



※途中で動作を止めたい場合は、[スタート] ボタンを押して止め、ロックボタンを押してロックを解除しカバーを開けて最初からやり直してください。

⚠ 注意

- 正しくシールされたか確認してください。
約2mmの幅ですき間なくシールされている状態が正しくシールされた状態です。
- シール直後はシールヒーターに触れないでください。



- 45秒経っても停止しない場合は、[スタート] ボタンを押して動作を停止してから電源プラグを抜いてください。[故障かな?と思ったら] をご覧ください。

→16ページ

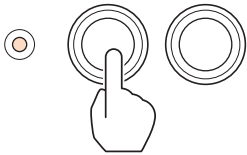
上手な使い方

果物や野菜の保存について

果物や野菜は呼吸しているためそのままでの保存はできません。
真空パックするときには次のような調理をしてから保存してください。

ゆでる	ほうれん草、ブロッコリー、たけのこ、とうもろこし、ふき、枝豆、グリーンピース、アスパラ、かぼちゃなど
漬ける	たくあん、らっきょう、キムチ、白菜の浅漬けなど
カットする	レモン、キウイフルーツ、パイナップル、りんごなど

保存するものにより操作を使い分ける

■とがったものを真空パックする場合 ●カニ、エビなどは袋に穴が開く場合があるので、ペーパータオルなどで包んでから真空パックします。	 → 8 ページ
■水分を少なくして真空パックする場合 ●肉や魚はペーパータオルなどを敷き、水分を吸収させて袋に入れます。 ●調理前のハンバーグ、餃子などはラップに包んでから袋に入れます。 ※空気が入らないようにラップしてください。	
■水分が多いものを真空パックする場合 ●カレー、シチューなどは冷凍してから袋に入れます。	 [スタート] ボタンを押してから [ストップ] ボタンを押します。 → 12 ページ
■潰れや割れなどが懸念されるものをパックする場合 ●ごはん、煎餅、ラスクなど ※早めにシールする	
■やわらかく潰れやすいものをパックする場合 ●パン、カステラ、シュークリーム、スナック菓子など	脱気せずにシールのみ → 13 ページ

使い方(手動)

パンやカステラなどやわらかいものや潰れやすいものなどをお好みの脱気具合でパックする場合

お好みの脱気具合でパックする

1 ～ 4 使い方(自動)と同じ

→8ページ

5 脱気してシールする

①[スタート] ボタンを押します。

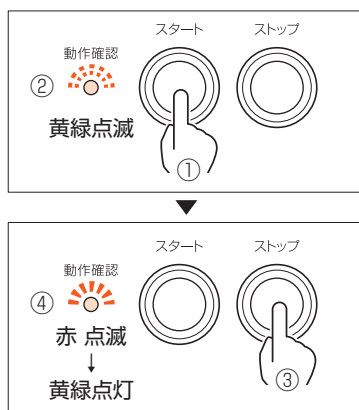
▼
②動作確認ランプが[黄緑]に点滅し、
脱気を開始します。

▼
③お好みの状態まで空気が抜けたら
[ストップ] ボタンを押します。

▼
④動作確認ランプが[赤]に点滅し、
シール(溶着)を開始します。
数秒後に[黄緑]に点灯したら
シール(溶着)は完了です。

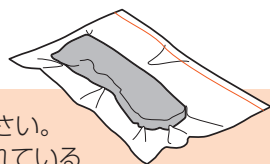
※シールの途中でロックが解除されますが
異常ではありません。シールが完了する
までカバーを開けないでください。正し
くシールされないことがあります。

▼
⑤カバーを開けてパックされた袋を
取り出してください。



注意

- 正しくシールされたか確認してください。
約2mmの幅ですき間なくシールされている
状態が正しくシールされた状態です。
- シール直後はシールヒーターに触れないでください。



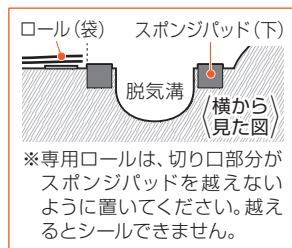
脱気をしないでパックする

1～2 使い方(自動)と同じ

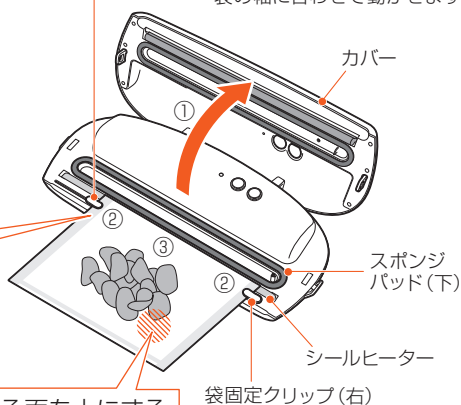
→8ページ

3 シールヒーターに乗せる

- ①本体カバーを開け、
- ②専用ロールの左右の端を袋固定クリップにはさみ、
- ③専用ロールの切り口部分をシールヒーターの上に乗せます。



袋固定クリップ(左) ※袋固定クリップ(左)の位置は袋の幅に合わせて動かします。

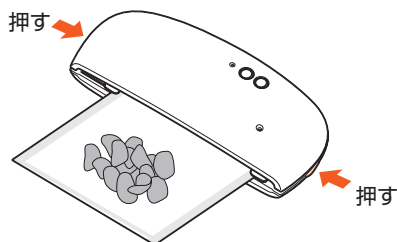


つるつる面を上にする

※下にとすると完全にシールできない場合があります。

4 カバーを閉め、ロックする

左右のロックボタンを押してロックし、カバーが開かないことを確認してください。

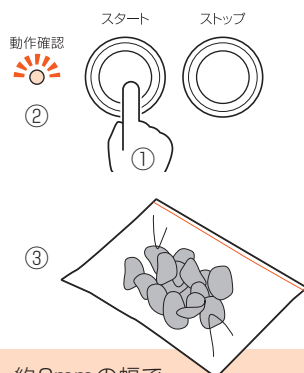


5 シールする

- ①[スタート] ボタンを押して、シールします。
- ②ブーという音がして、シール(溶着)が始まり動作確認ランプが[黄緑]→[赤]に点滅します。約11秒後に[黄緑]に点灯したら完了です。

※シールの途中でロックが解除されますが異常ではありません。シールが完了するまでカバーを開けないでください。正しくシールされないことがあります。

- ③カバーを開けて袋になったロールを取り出してください。



注意

- 正しくシールされたか確認してください。約2mmの幅ですき間なくシールされている状態が正しくシールされた状態です。
- シール直後はシールヒーターに触れないでください。

お手入れの仕方



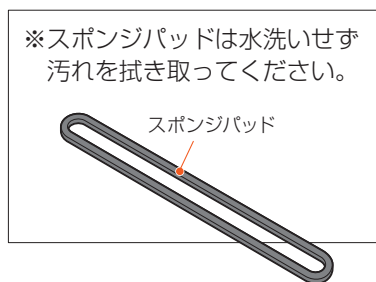
警告

●お手入れの際は必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

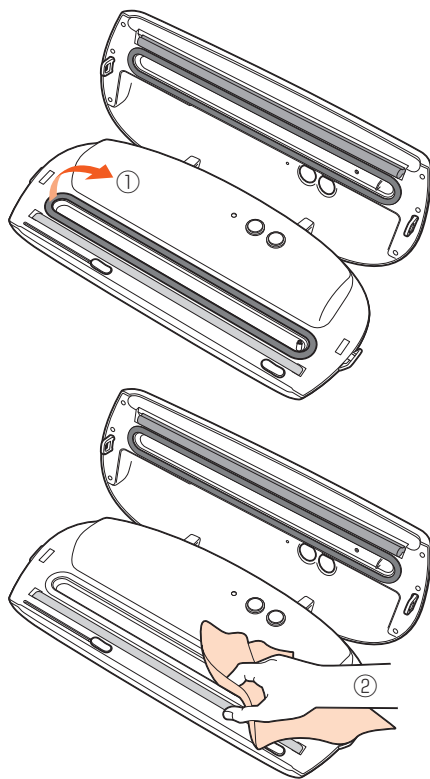
■脱気溝

①スポンジパッドを取り外します。

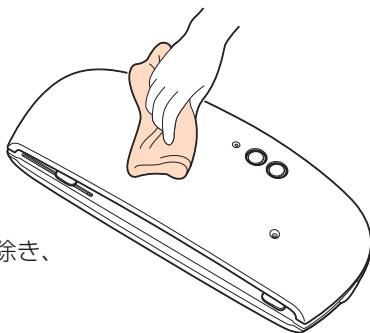
※スポンジパッドは水洗いせず
汚れを拭き取ってください。



②乾いた布で拭いてください。
汚れが落ちにくいときは
薄めた中性洗剤を含ませた布で
汚れを取り除き、固くしぼった布で
拭き取ってください。



③スポンジパッドを溝に合わせて
下に押し込みはめてください。



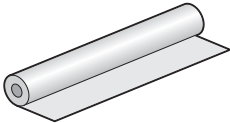
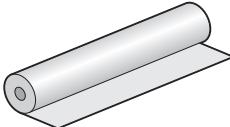
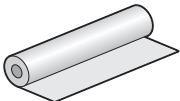
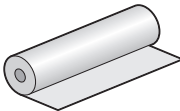
■本体

乾いた布で拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、
薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを取り除き、
固くしぼった布で拭き取ってください。

消耗品について

付属の専用ロールは消耗品です。
すべてご使用されましたら、別途お問い合わせください。

■別売品

品名：専用ロール 幅28cm×長さ300cm 品番：VPF-R283T	
品名：専用ロール 幅28cm×長さ600cm 品番：VPF-R286T	
品名：専用ロール 幅20cm×長さ300cm 品番：VPF-R203T	
品名：専用ロール 幅20cm×長さ600cm 品番：VPF-R206T	

原料樹脂：ポリエチレン、ナイロン

耐熱温度：100℃

耐冷温度：-30℃

使用上の注意

- 火のそばに置かないでください。
- 電子レンジで使用する場合は袋の角を切って皿などに載せてください。
- 衛生上の観点から再利用はしないでください。

●販売店に取り扱がない場合は、アイリスコールにお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
動作しない	●電源プラグがコンセントに接続されていない	●電源プラグをコンセントに接続してください。
動作確認ランプが「黄緑→赤」と点滅を繰り返して動作しない	●カバーが閉まっていない	●カバーをしっかりと閉めてください。
	●30秒以上間隔をおかずに連続使用している	●作業を30秒以上中断して、本体温度を下げた後再度使用してください。
ロールから空気が抜けない	●ロールの切り口が脱気溝に入っていない	●ロールの切り口を正しく脱気溝に入れてください。
	●ロールに穴や破れがある	●別のロールをご用意ください。
	●ロールが袋になっていない	●先にロールを袋にします。
	●スポンジパッドが正しく装着されていない	●スポンジパッドを正しく装着してください。
	●スポンジパッドが劣化している	●アイリスロールにお問い合わせください。
脱気後、ロールに空気が入り込む	●シール部分がシワになっている	●別のロールをご用意ください。
	●シール部分に水や物が付着している	●水や物を取り除いて、完全に乾いてから使用してください。
	●ロールに穴が開いている	●別のロールをご用意ください。
ロールが溶ける	●連続作業している	●一度作業を中止し、しばらく時間をおいてから再開してください。
ロールがシール(溶着)されない	●シール部分がしわになっている	●別のロールをご用意ください。
	●脱気時に食品などの水分がロール内部を広がり、シールヒーター部に達している	●保存するものの水分をよく切るか冷凍してから使用してください。
	●スポンジパッドを超えてセットしている	●正しい位置にセットしてください。
	●ロールの切り口がまっすぐでない	●まっすぐにカットしたロールを使用してください。
	●スポンジパッドが劣化している	●アイリスロールにお問い合わせください。
	●ゴムパッキングが外れている	●正しい位置にセットしてください。
	●自動モードではロールから空気が抜けないとシール(溶着)されません。	
ストップボタンを押してもシールされない	●手動の場合、先に脱気をしないとシールできません。	

それでも解決できないときは

ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告 ●ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

MEMO

仕様

セット内容

本体
専用ロール 幅28cm×長さ300cm(1本)
専用パウチ 幅20cm×長さ30cm(3枚)

■本体

名 称	真空保存フードシーラー
品 番	VPF-385T
サ イ ズ	幅380×奥行165×高さ95mm
本 体 重 量	約2.1kg
電 源 電 圧	AC100V (50/60Hz)
シ ー ル 可 能 幅	最大280mm
消 費 電 力	140W
脱 気 力	約500mmHG
使用可能な袋	専用ロール、専用パウチ
接着部の温度	120℃
シ ー ル 時 間	〈脱気+シール時〉約11秒
	〈シール時〉約11秒
電源コードの長さ	約1.2m
主 要 材 質	ABS樹脂

■付属品

名 称	専用ロール 幅28cm×長さ300cm	専用パウチ 幅20cm×長さ30cm
サ イ ズ	幅約28cm×長さ約300cm	幅約20cm×長さ約30cm
原 料 樹 脂	ナイロン、ポリエチレン	
耐 熱 温 度	100℃	
耐 冷 温 度	-30℃	

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

真空保存フードシーラー VPF-385T

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間	
		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- ⑥ 本書の提示がない場合
- ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0120-311-564

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください